

／
() 課題

教 P27~30
ワ P6~9



○ 原子が結びついてできる粒子

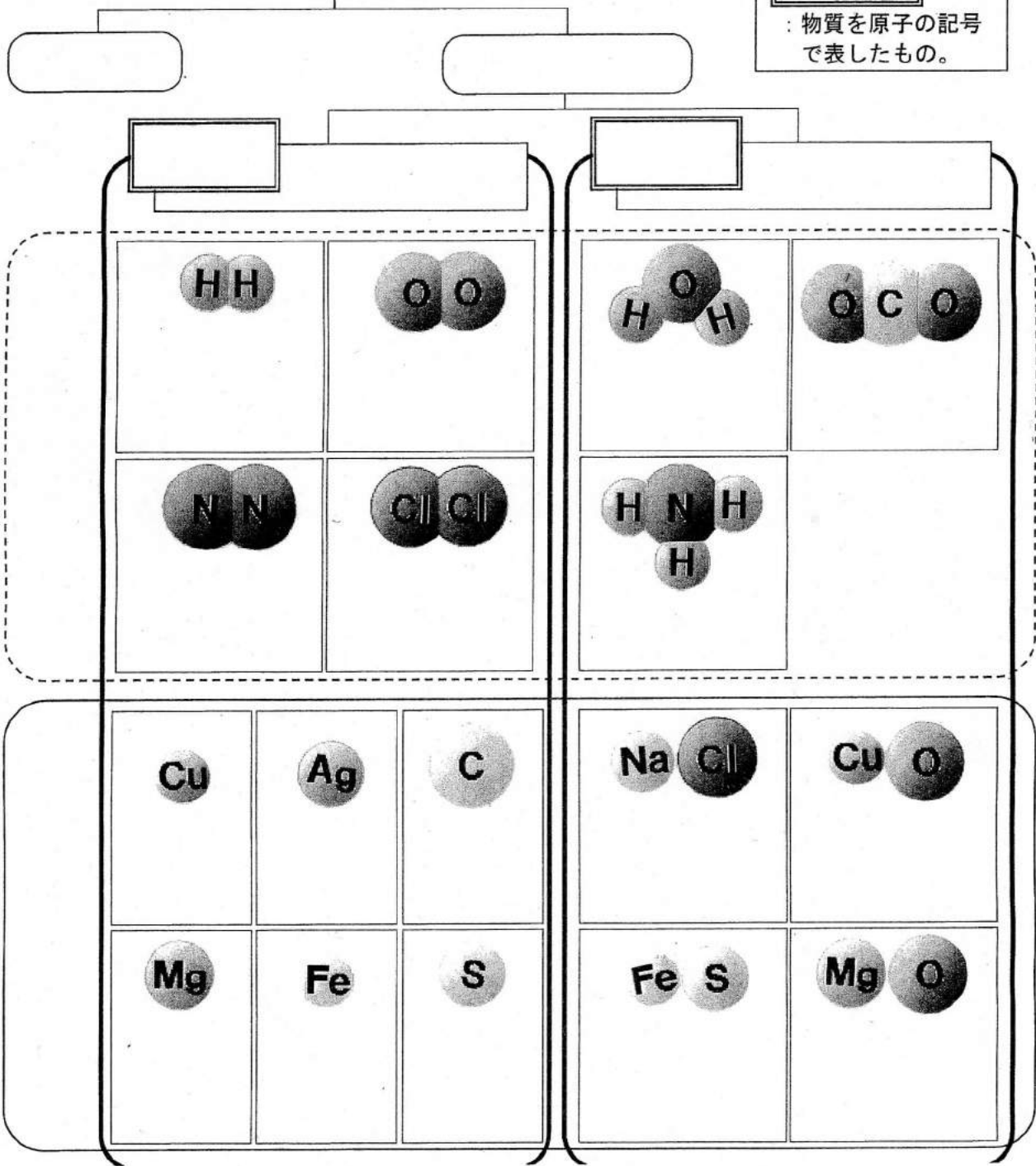
: いくつかの原子が結びついてできた粒子。

(現在では、気体だけでなく、固体や液体でも、分子からできている物質があることが分かっている。 液体…水、エタノール、固体…砂糖など)

○ 物質の分類と単体・化合物の化学式

物質

: 物質を原子の記号で表したものを。



H H H H H H H H

O O O O O O O O

C C S S S S S S

N N N N

Cl Cl Cl Cl

Mg Mg Mg Mg

Na

Fe Fe Fe Fe

観察 1 植物と動物の細胞のつくり (P88, 89) 2年 組 番 名前

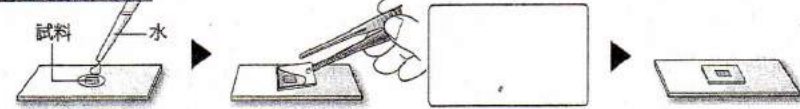
実験日 2020年 月 日 () 校時 天気 気温 °C 湿度 %

目的

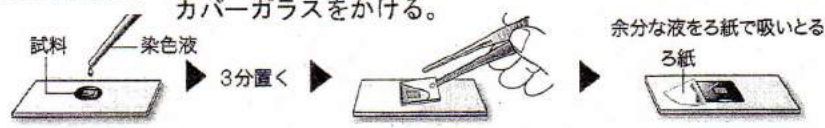
準備 オオカナダモの葉、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、綿棒、ろ紙、顕微鏡
染色液()

1 染色しないプレパラートと染色するプレパラートをつくる

染色しないもの : 試料に水を2~3滴たらして、カバーガラスをかける。




染色するもの : 試料に染色液を2~3滴たらして3~5分置き、その後、カバーガラスをかける。




余分な液をろ紙で吸いとる

オオカナダモの葉 (植物)



葉を1枚ピンセットでとる

ヒトのほおの内側の粘膜 (動物)



ほおの内側の粘膜を、綿棒(楊枝)の先の部分で軽くこすりとる。

2 顕微鏡で細胞のつくりを観察し、スケッチする。
(植物細胞は100~150倍、動物細胞は100~400倍)

	オオカナダモの葉	ヒトのほおの粘膜	気づいたこと
結果	染色しない細胞		
	染色した細胞		
	観察倍率 100 倍	400 倍	

考察 植物と動物の細胞を比較して、共通点と異なる点をまとめる。

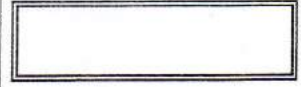
反省感想

<p>【自己評価】</p> <p>1 積極的に観察に取り組めたか？</p> <p>2 観察の手順・操作が理解できたか？</p> <p>3 観察によって課題が解決したか？</p>	<p>はい いいえ</p> <p>5・4・3・2・1</p> <p>5・4・3・2・1</p> <p>5・4・3・2・1</p>
--	--

／ 課題
()

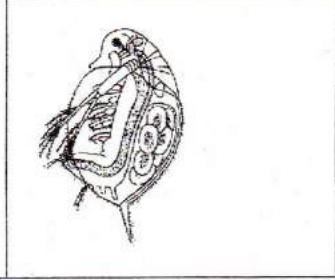
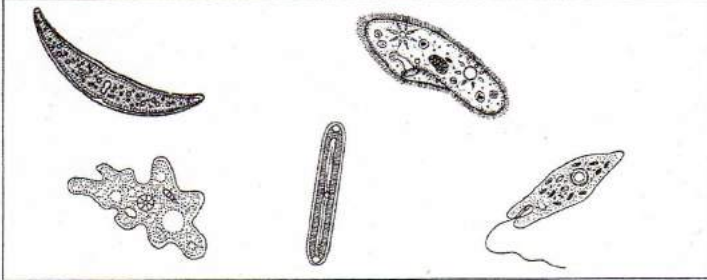
○ 単細胞生物と多細胞生物

・生物は () でつくられている。



() 個の細胞で () を行っている。

()



クリオネは、
(ハダカガイ)

() 細胞生物
であり、
() の
仲間。(イカ、タコ、
アサリ、マイマイと
同じグループ)

・細胞の () や ()、() は、生物の種類やからだの部分によって ()。

○ 多細胞生物の細胞

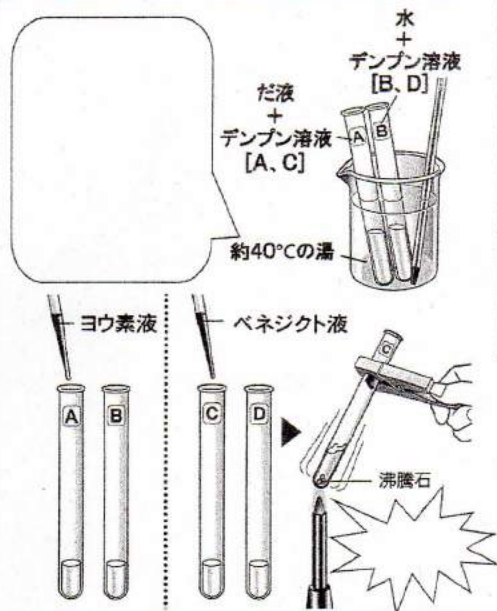
() では、

- ・形やはたらきが同じ () が集まって () をつくる。
- ・いくつかの () が集まって1つのまとまった形をもち、特定のはたらきをする () をつくる。
- ・いくつかの () が集まって () がつくられる。

	<p>()</p> <p>()</p>	<p>()</p> <p>()</p> <p>() ()</p>	<p>()</p> <p>()</p> <p>()</p>	
植物				
	<p>()</p> <p>()</p>	<p>()</p> <p>()</p>	<p>()</p>	
動物				

目標

○ 実験1 『だ液によるデンプン溶液の変化』のまとめ



	の反応	の反応
だ液 + デンプン溶液 ()	A []	C []
水 + デンプン溶液 ()	B []	D []

【 】:

- ・ヨウ素液に対する反応 (A, B) から分かること;
- ・ベネジクト液に対する反応 (C, D) から分かること;

○ 消化管と消化

消化管は () にふくまれ、食物を _____

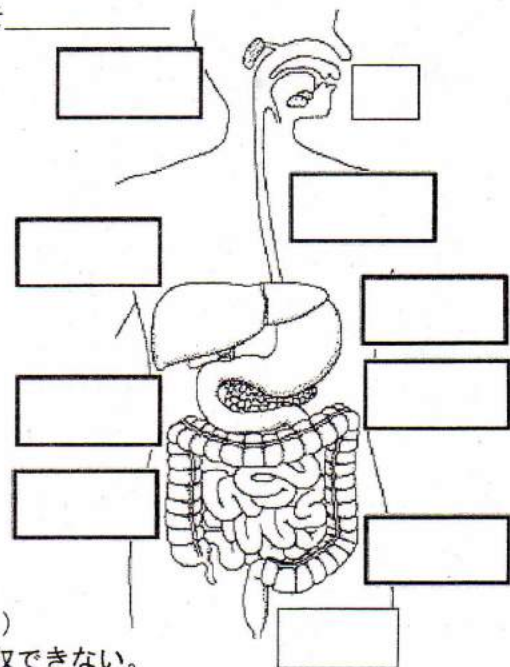
- ・消化液の () には、 () を () などに分解する消化酵素の () が含まれている。

消化管は () から始まり、 ()、 ()、 ()、 () などを経て () で終わる 1本の長い管。

- ・食物にふくまれている 栄養分 ()、()、() は大きな分子の物質で、食べたそのままの形では吸収できない。



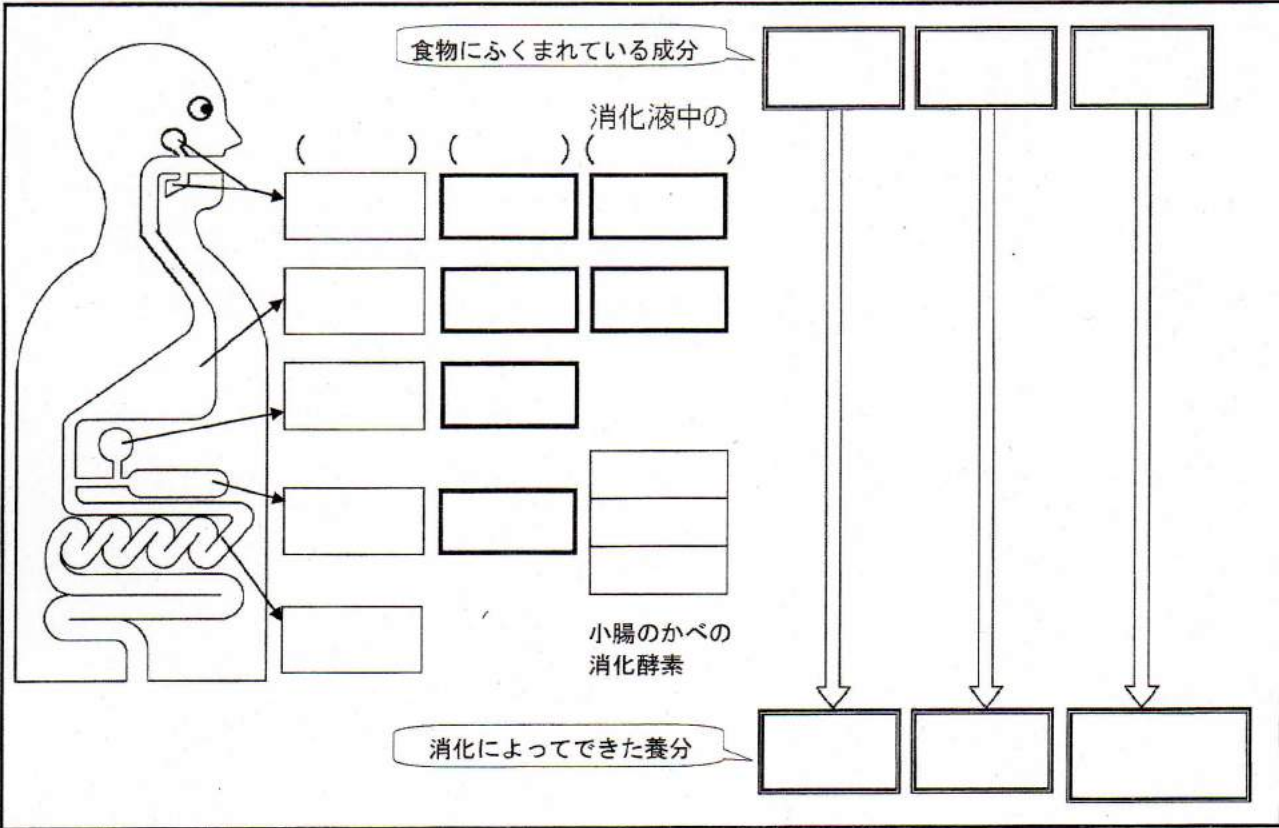
消化管の中で、食物が () (食物は _____ や _____ で細かくされ、さらに、 _____ のはたらきで小さな粒に分解される。)



課題
()

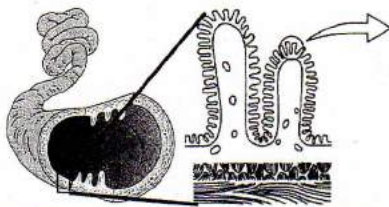
教 P102~104
ワ P38

○ 消化の流れ



○ 吸収のしくみ

消化によってできた養分は () で () される。



() の () なることで、()

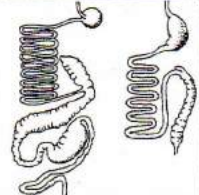
()

() と () は、 () に入り () を通って 全身の細胞に運ばれる。

() と () は、 再び () となって () に入り、心臓の近くで血管につながり全身の細胞に運ばれる。

・ () は主に () で吸収されるが、残りは () で吸収される。消化されなかった食物中の繊維などは、便として肛門から排出される。

() と () の長さのちがい



() の 4つのはたらき

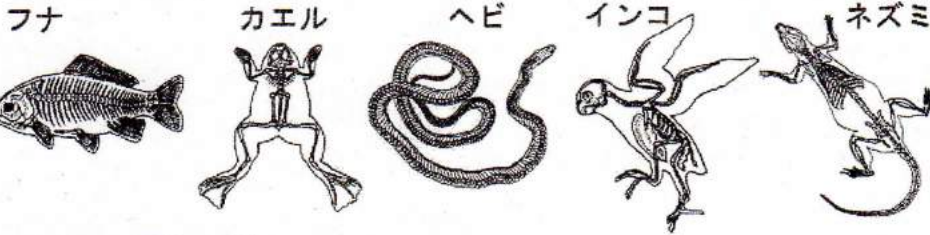


／
() 課題

教 P127~129
ワ P48, 49

自己評価
A B C

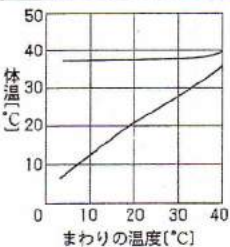
○ セキツイ動物



:()のある
動物。

○ セキツイ動物の分類

	生活場所	呼吸	体表	体温	子のうまれ方	例
					()に ()をうむ。	
	 幼生: 成体:	幼生: 成体:	乾燥に		()に ()をうむ。	
			乾燥に		()に () をうむ。	
					()に() をつくり、() をうむ。	
					子は母親の子宮の中 で、へそのおを通して 養分や酸素をもらい、 ある程度育ってから うまれる。() を飲んで育つ。	



: 体温が()動物。

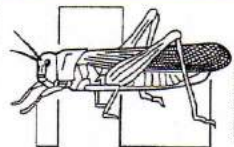






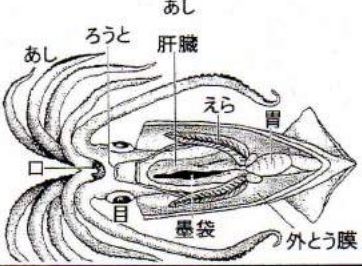
: 気温の変化にともない体温が()動物。

／ 課題
()

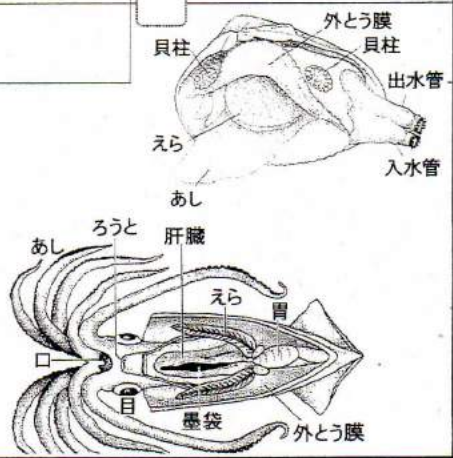
教 P130~131
ワ P50, 51

自己評価
A B C

_____ : (_____) (セキツイ動物との共通点: _____)
動物

特徴	類・綱	例
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		
(地球上で最も種類が多い。100万種)		
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		
<input type="text"/>		

棘皮動物	(), (), ナマコ
原索動物	ホヤ、ナメクジウオ
線形動物	センチュウ、カイチュウ
環形動物	(), ()
扁形動物	プラナリア
刺胞動物	(), サゴ、イソギンチャク
海綿動物	カイメン
原生動物	(), ()



【観察2】イカを解剖して観察する (P131) 《スケッチ》

- ①イカのからだのつくりを観察し、目、口、うで、外とう膜、ろうとを観察してスケッチする。
- ②ろうとを手前側にして外とう膜を切り開き、えら、消化管、肝臓を観察してスケッチする。